



Japan Society for Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry

2013.9

会告

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-3
支部だより・・・K-5

CALENDAR カレンダー

会
告

期 日	講演・会合等名称(会場)《共催等》, 太字=本会関連
2013年(平成25年)	
9/2(月)	食品酵素化学研究会第13回学術講演会(阪府大)
9/4~6(水~金)	JASIS2013(幕張)《後援》
9/5~6(木~金)	日本農芸化学会関西・中四国・西日本支部および日本ビタミン学会近畿・中国四国・九州沖縄地区合同大会(2013年度合同広島大会)(県広島大)
9/7(土)	日本農芸化学会中四国支部第23回市民フォーラム「食と農を科学するー日本発の農芸化学・ビタミン学研究ー」(広島)
9/10~12(火~木)	第61回日本質量分析総合討論会(つくば)《共催》
9/10~12(火~木)	2013年度日本冷凍空調学会年次大会(東海大)《協賛》
9/11(水)	発酵と代謝研究会シンポジウム「放射菌によるヒト・動物医薬と農薬への貢献」(東大)《協賛》
9/12(木)	日本学術振興会地球環境・食糧・資源のための植物バイオ第160委員会 第6回研究会「メタボロン:植物二次代謝のダイナミクス」(北大)
9/12~13(木~金)	第30回シクロデキストリンシンポジウム(熊本)《共催》
9/12~14(木~土)	第51回粉体に関する討論会(松江)《協賛》
9/14~16(土~月)	第22回日本バイオイメージング学会学術集会(東大)《協賛》
9/14~18(土~水)	第12回ヒトプロテオーム機構国際会議(HUPO2013)(横浜)《後援》
9/18~20(水~金)	第55回天然有機化合物討論会(同志社大)《共催》
9/18~20(水~金)	第64回コロイドおよび界面化学討論会(名工大)《協賛》
9/19~20(木~金)	生命分子機能研究会2013学術集会「生命分子・ペプチド創薬の医療へのインパクト」(長浜バイオ大)《協賛》
9/20(金)	第63回東レ科学講演会(東京)《後援》
9/20(金)	第9回アスタキサンチン研究会(東京)
9/20(金)	第18回チョコレート・ココア国際シンポジウム(東京)
9/22(日)	ERATO浅野酵素活性分子プロジェクト・富山県立大学特別シンポジウム(富山)
9/22~26(日~木)	Enzyme Engineering XXII(富山)《共催》
9/23~27(月~金)	第15回全反射蛍光X線分析法(TXRF2013)および第49回X線分析討論会合同会議(阪市大)《協賛》
9/24(火)	平成25年度文部科学省創薬等支援技術基盤プラットフォーム公開シンポジウム(東京)《後援》
9/24~27(火~金)	13th International Conference on the Chemistry of Antibiotics and Other Bioactive Compounds (ICCA-13)(山梨)《共催》
9/25~26(水~木)	第11回高付加価値食品開発のためのフォーラム(裾野)《協賛》
9/25~27(水~金)	第61回レオロジー討論会(山形大)《協賛》
9/27(金)	平成25年度日本生物工学会北日本支部函館シンポジウム「海洋と水産のバイオテクノロジー」(函館)
9/28(土)	ノーベル賞受賞者講演会ー理系学生(学部・大学院・博士研究員)対象:根岸英一博士(東京)《協賛》
9/28(土)	プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム2013(愛媛大)《後援》
10/3~4(木~金)	第36回フッ素化学討論会(つくば)《共催》
10/4~8(金~火)	第10回アジア・太平洋キッチン・キトサン国際シンポジウム並びに第27回キッチン・キトサンシンポジウム(米子)《協賛》
10/5(土)	平成25年度日本農学会シンポジウム(東大)《後援》

期 日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
10/5～7（土～月）	第57回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会（埼玉大）《共催》
10/9～11（水～金）	BioJapan 2013（横浜）《後援》
10/11（金）	公開講演会「大豆のはたらき in 福岡一食を通して健やかな人生をー」（福岡）《協賛》
10月12日（土）	中部支部第168回例会 ミニシンポジウム「ペプチド系抗生物質の生合成ーペプチド合成酵素の多様な触媒メカニズムー」
10/14～18（月～金）	第18回国際窒素固定会議（18th International Congress on Nitrogen Fixation）（宮崎）《共催》
10/17～19（木～土）	第43回複素環化学討論会（岐阜）《共催》
10/18（金）	日本農芸化学会関東支部若手企画研究会 天然物化学研究会「天然物化学の潮流を読む」（東農大）
10/23～25（水～金）	アグロ・イノベーション2013（東京）《協賛》
10/25（金）	酵素工学研究会第70回講演会（東大）
10/25（金）	日本農芸化学会東北支部第14回若手の会（岩手）
10/26（土）	日本農芸化学会東北支部第148回大会（岩手大）
10/28～29（月～火）	The 2nd International Symposium on Chemical Biology of natural products: target ID and regulation of Bioactivity（横浜）《協賛》
10/31～11/1（木～金）	第60回界面科学部会秋季セミナー「化粧品，医薬品，食品製剤の最前線」（箱根）《協賛》
10/31～11/2（木～土）	第49回熱測定討論会（千葉工大）《共催》
11/1（金）	第7回多糖の未来フォーラム（阪府大）《共催》
11/1（金）	第22回腸内フローラシンポジウム（東京）
11/2（土）	第4回機能油脂懇話会（明大）
11/2～4（土～月）	第4回 Modern Solid Phase Peptide Synthesis & its Applications Symposium（SPPS 2013）（神戸）《協賛》
11/6～7（水～木）	第104回有機合成シンポジウム（早稲田大）《共催》
11/6～8（水～金）	第4回アジア太平洋国際ペプチドシンポジウム，第50回ペプチド討論会（大阪）《共催》
11/6～8（水～金）	第5回国際O-CHA学術会議（静岡）《後援》
11/7（木）	第19回名古屋メダルセミナー（名大）《協賛》
11/7～8（木～金）	第36回情報化学討論会（筑波大）《共催》
11/7～8（木～金）	第41回構造活性相関シンポジウム（関西学院大）《協賛》
11/7～8（木～金）	第12回食品レオロジー講習会ー初心者のための実習と基礎ー（東大）《協賛》
11/8（金）	第54回機器分析講習会（第3コース：食品を中心にした異物分析）（東京）《協賛》
11/12～13（火～水）	第58回リグニン討論会（高松）《共催》
11/12～14（火～木）	第52回NMR討論会（金沢）《共催》
11/14～16（木～土）	第54回高圧討論会（新潟）《協賛》
11/15（金）	日本希土類学会第31回講演会（名古屋）《協賛》
11/15（金）	植物化学シンポジウム第50回記念大会（東大）《共催》
11/15（金）	日本油化学会オレオマテリアル部会セミナーー親水性ゲル化剤が切り開くオレオマテリアルの新展開ー（東京理科大）《協賛》
11/15～16（金～土）	第46回酸化反応討論会（筑波大）《共催》
11/16～17（土～日）	第19回ヒ素シンポジウム（九大）《後援》
11/16～17（土～日）	2013年日本化学会中国四国支部大会（広島大）
11/20～21（水～木）	第13回糸状菌分子生物学コンファレンス（つくば）
11/20～21（水～木）	平成25年度後期（秋季）有機合成化学講習会（東京）《共催》
11/27（水）	第30回医用高分子研究会講座ー再生医療を支える高分子材料技術ー（東大）《協賛》
11/29（金）	2013年度日本乳酸菌学会秋季セミナー「乳酸菌・ビフィズス菌利用研究の新たな展開」（東農大）
12/3～5（火～木）	第40回炭素材料学会年会（京都）《協賛》
12/5～6（木～金）	平成25年度室内環境学会学術大会（佐世保）《後援》
12/5～7（木～土）	第40回有機典型元素化学討論会（近畿大）《共催》
12/20～21（金～土）	第17回生体触媒化学シンポジウム（岡山理大）《共催》
2014年（平成26年）	
1/24～25（金～土）	第25回ビタミンE研究会（鳥取）
3/27～30（木～日）	日本農芸化学会2014年度（東京）大会

農芸化学会 からの **お知らせ**

2014年度（平成26年度）大会のお知らせ

日本農芸化学会2014年度（平成26年度）大会を下記の予定で開催いたします。

会 期：2014年（平成26年）3月27日（木）～30日（日）

会 場：

【授賞式／受賞講演等】明治大学リパティータワー（〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1, http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html）

【懇親会】京王プラザホテル（〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1, <http://www.keioplaza.co.jp/>）

【一般講演・展示会・シンポジウム・ラ

ンチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等】明治大学生田キャンパス（〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1, http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/ikuta/campus.html）

授賞式、受賞講演等、懇親会：2014年3月27日（木）

一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等：2014年3月28日（金）～30日（日）

一般講演申込（要旨投稿）WEB受付期間：2013年11月1日（金）～2013年12月6日（金）正午（予定）

大会参加申込WEB受付期間：2013年12

月6日（金）午後～2014年2月10日（月）（但 事前料金）（予定）

当日参加申込WEB受付期間：2014年3月3日（月）～2014年3月30日（日）（但 当日料金）（予定）

プログラム集（冊子体発行）：2014年2月25日（火）

講演要旨集（WEB上での公開）：2014年3月5日（水）

大会実行委員会：〔委員長〕正木春彦（東京大学大学院農学生命科学研究科）〔副委員長〕星野貴行，中島春紫〔総務〕渡邊秀典

本会推薦による賞・助成金情報

適任者がおられましたら奮ってご応募ください。本会授賞選考委員会で選考し、推薦いたします。

賞・助成の詳細につきましては、当募集団体ホームページをご覧ください。

また、本会ホームページの賞・助成金情報（<http://www.jsbba.or.jp/info/grant/>）もご覧ください。

【賞】

○第54回東レ科学技術賞（9/10締切）

対 象：農芸化学の分野で（1）学術上の業績が顕著な方（2）学術上重要な発見をした方（3）効果が大きい重要な発明をした方（4）技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方

贈 呈：賞状、金メダルおよび賞金500万円

○平成25年度飯島藤十郎賞（11/6締切）

対 象：食品科学、特に米麦その他主要食糧を原料とする食品の素材、加工技術、品質、安全性、栄養、機能その他に関する学術上の研究および食品の技術開発に優れた業績が認められる活躍中の研究者または研究グループ

飯島藤十郎食品科学賞

対 象：上記に示す研究分野に関し、学術上特に優秀な研究業績をあげた研究者

褒 賞：賞状、賞牌、研究奨励金500万円

飯島藤十郎食品技術賞

対 象：上記に示す研究分野に関し、食品の技術開発において優れた業績をあげた研究者または研究グループ（企業研究者を含む）

褒 賞：賞状、賞牌、研究奨励金200万円

【助成】

○第54回東レ科学技術研究助成（9/10締

切）

対 象：農芸化学の分野で、国内の研究機関において、自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献することが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45歳以下）。本助成が重要な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件

助成額：1件3,000万円程度まで

《問い合わせ・応募先》〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内 日本農芸化学会事務局授賞係
Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920
E-mail: shomu@jsbba.or.jp

第41回研究奨励金交付候補者募集要項

対 象：農芸化学諸分野における意欲的な研究. 1件1名としますが、共同研究者を含めても差し支えありません。

奨励金の金額：1件50万円以内、5件（総額250万円）

応募方法：所定の用紙（4ページ）に必要事項を記入のうえ、当財団あてに郵便にてご送付ください。推薦書は必要ありません。

応募の締切：平成25年10月31日（木）消印有効

奨励金の交付：平成25年12月

奨励金受領者の義務：

(1) 受領者は、奨励金の収支に関する書類を整理保管し、

平成27年4月末日までに、収支報告書を理事長宛に提出すること。

(2) 受領者は、平成27年4月末日までに研究報告を理事長宛に提出すること。

応募用紙の請求先および送付先：

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル2階

公益財団法人農芸化学研究奨励会事務局

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

E-mail: soumu@jsbba.or.jp

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、国会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

趣 旨：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかわる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

授業時間：1～2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

（PDF）にてお申込み下さい。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789

E-mail: soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

正会員（一般会員・シニア会員・教育会員）、学生会員各位へ 会費および購読料について

2013年度会費・購読料のご納入について、2013年3月、6月、11月に振替用紙をお送りいたします。また、口座引落（銀行・郵便）につきましては、2013年（平成25年）3月1日引落になっております。

《ご注意》2012年度（平成24年度）会費、購読料をご納入いただいていない会員の方には、2013年度会費との合計金額を印字した振替用紙をお送りいたします。

なお、会費が納められていない場合は入金
が確認されるまで、学会誌の送本を一
時停止しています。

○退会を希望される方へ

退会を希望される方は、文書（ハガキ、Fax [03-5803-9562, 会員係あて]、E-mail [kaiin@jsbba.or.jp]）で会員名・会員番号（ID）・簡単な退会理由を明記のうえ、退会届を出していただいております。なお、Webからも退会申請ができます。下記のURLを参照の上、お手続き下さい。

○会員関係問合せ先：Tel. 03-5803-9561

2013年度（平成25年度）会費および購読料

会員種別		会費(年)	BBB購読料(年)
正会員	一般会員	10,000円	8,400円
	シニア会員	8,000円	8,400円
	教育会員	6,000円	8,400円
学生会員		6,000円	5,560円
団体会員		30,000円	
賛助会員		1口60,000円	

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 新入会・登録情報変更などの URLについて

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
新規入会、登録情報確認・変更のURLは下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づき学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないように十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない箇所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、E-mailなどご登録いただいていないようでしたら是非ご登録下さいますようご協力下

さい。

[日本農芸化学会ホームページURL]

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行って下さい。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。

《事務局会員係》Tel. 03-5803-9561, Fax. 03-5803-9562, E-mail: kaiin@jsbba.or.jp



支部だより

日本農芸化学会関西・中四国・ 西日本支部および 日本ビタミン学会近畿・ 中国四国・九州沖縄地区合同大会 (2013年度合同広島大会)

日時：2013年9月5日(木) 13:00~17:30,
9月6日(金) 9:00~17:00

会場：県立広島大学広島キャンパス教育研究棟2(広島市南区宇品東1-1-71)

※広島駅から市内電車5番 広島港(宇品)
行きにて「県病院前」下車

プログラム：第1日目・特別講演(13:00~15:00)：2013年度日本農芸化学会賞受賞講演 重岡 成(近畿大学農学部)、伏木亨(京都大学大学院農学研究科)；2013年度日本農芸化学会功績賞受賞講演 久原哲(九州大学大学院農学研究科)、西田律夫(京都大学大学院農学研究科)・シンポジウム(15:10~17:30)：1. 食品成分の機能性評価と応用研究：食による健康・長寿を目指して「カロテノイド研究の推移と現状」富田純史(九州共立大・スポーツ)、「乳酸菌・ビフィズス菌の腸炎抑制作用」田辺創一(広島大院・生物圏)、「体脂肪を低減させるポリフェノール高含有飲料の開発」中村淳一(サントリーグローバルイノベーションセンター(株))、「地域特産食品の高付加価値化を実現する機能性成分の分析マニュアルの標準化について」廣津孝弘(産総研・四国)；2. 藻類、微生物によるエネルギー・食糧生産と魚介資源の安全確保：諸課題と未来への展望「高オイル産生海洋珪藻 *Fistulifera* 属を利用したエネルギー生産の展望」松本光史(電源開発・若松研)、「資源管理型漁業のための動物性初期餌料生物の培養生産の現状と光利用による生産効率化の可能性」田中賢二(近畿大・産業理工)、「緑藻イカダモの野外大量培養と食糧油脂・バイオディーゼル燃料生産」西尾幸郎(四国大・短大)、「海洋酵母による水圏バイオマスからのエタノール生産」岡井公彦(東大院・農学生命)・懇親会(18:30~20:30) ANA クラウンプラザホテル(広

島市中区中町7-20)

第2日目・一般講演(9:00~17:00)

参加費：一般 1,000円、学生 無料(事前の参加申込不要)

懇親会費：一般 8,000円、学生 4,000円(当日参加料金)

連絡先：2013年度合同広島大会実行委員会 広島県庄原市七塚町562

県立広島大学(実行委員長：武藤徳男 E-mail: muto@pu-hiroshima.ac.jp)

本合同大会についての詳細は、日本農芸化学会中四国支部ホームページ(<http://jsbba-cs.jp>)の「合同広島大会2013」案内ページをご覧ください。

日本農芸化学会中四国支部 第23回市民フォーラム 「食と農を科学するー日本発の 農芸化学・ビタミン学研究ー」

日時：2013年9月7日(土) 10:00~12:30
場所：中国新聞ホール(広島市中区土橋町7-1 Tel. 082-236-2455)

協賛：日本ビタミン学会

参加費：無料(参加申込不要)

講演：「和食の要となるダシのおいしさの科学とその応用」伏木 亨(京大院・農)、「日本のビタミン研究と健康へのかかわり」福澤健治(安田女子大・薬)、「きのこ、その驚異のパワーとは」森永 力(県立広島大・生命環境)

詳細は中四国支部ホームページ(<http://jsbba-cs.jp>)をご覧ください。

中部支部第168回例会

日時：平成25年10月12日(土) 13:00~
会場：名古屋大学シンポジオン(名古屋市中区地下鉄 名城線「名古屋大学」下車)

内容：ミニシンポジウム『ペプチド系抗生物質の生合成ーペプチド合成酵素の多様な触媒メカニズムー』：「ペプチドライゲーストリボソームによる協同的なペプチド新奇生合成機構の解明」大川 徹(北大院・工)、「ホモポリアミノ酸およびホモオリゴアミノ酸を合成する新奇ペプチド合成酵素の反応メカニズム」濱野吉十(福井県大・生物資源)、一般ポスター発表、懇親会
詳細は支部ホームページ(<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>)にて

問合せ先：中部支部庶務幹事 邊見 久(名大院・生命農)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Tel. 052-789-4134, Fax. 052-789-4120

E-mail: hhemmi@agr.nagoya-u.ac.jp

日本農芸化学会東北支部 第14回若手の会

開催日時：平成25年10月25日(金)

場所：繋温泉・清温荘

世話人：宮崎雅雄、山田美和、伊藤芳明

詳細は、決定次第支部ホームページ上でご案内いたします。

日本農芸化学会東北支部 第148回大会

開催日時：平成25年10月26日(土)

場所：岩手大学農学部

世話人：磯部公安(岩手大学農学部)

詳細は、決定次第支部ホームページ上でご案内いたします。

2013年度(平成25年) 日本農芸化学会 西日本支部奨励賞候補者募集

日本農芸化学会西日本支部では、本年度におきましても農芸化学の進歩に寄与した研究を顕彰する西日本支部奨励賞(一般；1件、学生；1件)を公募いたします。奮ってご応募ください。

応募資格：申請時に日本農芸化学会会員あるいは入会手続き中で、2013年度(平成25年)4月1日現在の時点で満37歳以下であり、主たる研究の場が西日本支部内であること。応募方法・応募申請書は支部ホームページ(<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west>)を参照のうえ、必要書類をダウンロードしてください。

応募締切：2013年(平成25年)11月8日(金)まで

応募書類提出先：〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学大学院農学研究科生物化学分野内

日本農芸化学会西日本支部

Tel & Fax. 092-642-2854(庶務幹事：角田佳充)

メールアドレス登録のお願い

本会では、メーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係 (shomu@jsbba.or.jp) まで、氏名、登録用メールア

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

会員の拡充にぜひともご協力を!!

本会では、(一般会員：会費年額10,000円, シニア会員：会費年額8,000円, 教育会員：会費年額6,000円, 学生会員：会費年額6,000円) および(維持会員：会費年額1口60,000円, 団体会員：会費年間30,000円)の拡充を行っております。農芸化学に関係のある大学、官公庁、民間会社などの研究者、関係業務に従事して

いる方などがお知り合いにおられましたら、ぜひ本会への入会をご勧誘下さるようお願いいたします。入会の手続きなどの詳細につきましては、下記ホームページへアクセスして下さい。

◇URL <http://www.jsbba.or.jp/>

会費・購読料の納入にご協力下さい

本会会費・購読料のご納入につきまして

は、その年度の2月末に、納入のための振替用紙をお送りいたしております。会員の皆様は、この振替用紙を用い、会費・購読料をご納入下さいますようお願いいたします。

会費の未納は、学会誌などの送付・大会講演発表などに影響いたしますので、何卒速やかにご納入下さいますようお願い申し上げます。

会員の皆様へお知らせとお願い個人の賛助金（任意）に関する内規の制定と適用について

(公益社団)日本農芸化学会理事会

日本農芸化学会の財政は近年赤字基調となり、2001年度は約875万円(正会員1人当たり800円)、2002年度は約1,500万円(正会員1人当たり1,470円)の赤字を出しております。

このため2003年度第47回通常総会に会費値上げを提案いたしました。健全財政にするためには、会費収入、広告収入など収入増を図る努力とともに欧米の学会でみられるような善意の寄付金の受入れも大変重要です。

そこで、個人の賛助金に関する下記の内規を、2002年10月2日の理事会と全国評議員会の議を経て制定いたし

ました。2003年度から適用されます。

会員の皆様におかれましては、学会は会員が支えるものであるという原点にたちかえり、本年度も引き続きご協力下さいますようお願い申し上げます。

個人の賛助金（任意）に関する内規

第275回(2002年10月2日)理事会承認
第109回(2002年10月2日)全国評議員会承認

個人の賛助金(任意)に関し、以下のよう
に定める。

1. 対象はご協力いただける正会員(一般会員・名誉会員・有功会員・シニア会員・教育会員)とする。

2. 賛助金は一口5,000円とし、一口以上を申し受ける。

3. いただいた賛助金は、定款第54条(寄付金の受領)の規定に基づき処理する。

4. この内規は2003年度(平成15年度)から適用する。

5. お振込み先：振替口座東京00100-5-68187 社団法人日本農芸化学会

※郵便局備え付けの振替用紙をご利用いただいても結構です。

※通信欄にかならず「賛助金」とご記入下さい。